

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】令和6年12月5日(2024.12.5)

【国際公開番号】WO2023/182518

【出願番号】特願2024-509277(P2024-509277)

【国際特許分類】

C 0 8 F 4/40(2006.01)

C 0 8 F 2/44(2006.01)

C 0 8 K 3/013(2018.01)

C 0 8 L 51/10(2006.01)

C 0 8 F 292/00(2006.01)

C 0 8 F 20/00(2006.01)

C 0 8 F 4/00(2006.01)

A 6 1 K 6/838(2020.01)

A 6 1 K 6/61(2020.01)

10

【F I】

C 0 8 F 4/40

C 0 8 F 2/44 A

C 0 8 K 3/013

C 0 8 L 51/10

C 0 8 F 292/00

C 0 8 F 20/00 5 1 0

C 0 8 F 4/00

A 6 1 K 6/838

A 6 1 K 6/61

20

【手続補正書】

【提出日】令和6年9月24日(2024.9.24)

【手続補正1】

30

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

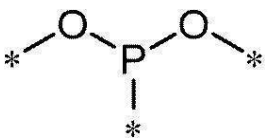
ホスホナイト化合物を含む重合促進剤。

【請求項2】

前記ホスホナイト化合物は以下の一般式(X)で示される構造を含む請求項1に記載の重合促進剤。

40

【化1】



(X)

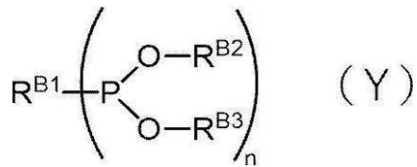
(一般式(X)中は*は炭素原子への結合位置を示す。)

【請求項3】

前記ホスホナイト化合物は以下の一般式(Y)で示される化合物を含む請求項1又は請求項2に記載の重合促進剤。

50

【化 2】



(一般式 (Y) 中、 R^{B1} は、 n 価の炭化水素基であり、 R^{B2} 及び R^{B3} は、それぞれ独立に、1 価の炭化水素基であり、 n は 1 又は 2 の整数である。)

【請求項 4】

請求項 1 又は請求項 2 に記載のホスホナイト化合物と、酸化剤と、還元剤と、を含む重合開始剤。 10

【請求項 5】

モノマー (1) を含む第 1 剤と、

モノマー (2) を含む第 2 剤と、を備え、

前記第 1 剤及び前記第 2 剤の少なくとも一方は、請求項 1 又は請求項 2 に記載のホスホナイト化合物、酸化剤及び還元剤を、それぞれ独立に含む硬化性組成物調製用キット。

【請求項 6】

前記酸化剤は、有機過酸化物を含み、

前記還元剤は、アスコルビン酸類と、遷移金属化合物とを含む、請求項 5 に記載の硬化性組成物調製用キット。 20

【請求項 7】

前記第 1 剤は前記遷移金属化合物、及び前記有機過酸化物を含み、

前記第 2 剤は前記アスコルビン酸類及び前記ホスホナイト化合物を含む請求項 6 に記載の硬化性組成物調製用キット。

【請求項 8】

前記第 1 剤における前記モノマー (1) 又は前記第 2 剤における前記モノマー (2) のいずれか一方は酸性基含有モノマーを含む請求項 5 に記載の硬化性組成物調製用キット。

【請求項 9】

前記第 1 剤における前記モノマー (1) は酸性基含有モノマーを含み、

前記第 2 剤は前記アスコルビン酸類及び前記ホスホナイト化合物を含む請求項 6 に記載の硬化性組成物調製用キット。 30

【請求項 10】

前記第 2 剤は前記アスコルビン酸類及び前記ホスホナイト化合物を含む請求項 6 に記載の硬化性組成物調製用キット。

【請求項 11】

前記第 1 剤及び前記第 2 剤はフィラーを含む請求項 5 に記載の硬化性組成物調製用キット。

【請求項 12】

前記第 1 剤及び前記第 2 剤に含まれる前記ホスホナイト化合物の総含有量は、調製される硬化性組成物の全質量に対して、0.1 質量% ~ 1.5 質量% である請求項 5 に記載の硬化性組成物調製用キット。 40

【請求項 13】

請求項 1 又は請求項 2 に記載のホスホナイト化合物と、酸化剤と、還元剤と、モノマーと、を含む硬化性組成物。

【請求項 14】

請求項 13 に記載の硬化性組成物の硬化物。

【請求項 15】

請求項 14 に記載の硬化物を含む歯科材料。